



諏訪商工会議所

平成22年度事業報告

賑わいと活力ある街の創造を目指して

当所は、平成22年度を総括する通常議員総会を5月25日に開催し、観光振興事業やまちづくり、産業振興事業等を通して街を元気にする活動に注力した昨年度事業、収支決算について報告しました。

平成22年度 総括的概要

諏訪商工会議所にとって平成22年度は、第23期の総括の年であるとともに、新しい推進体制での第24期のスタートの年でした。
第24期もスローガンを引き続き、『賑わいと活力のある街「諏訪」を創造する』と打ち出しました。

■議員改選・24期スタート

平成22年度の活動のうち、特筆されるのは議員改選がなされたことだと言えます。有賀昭彦前会頭には2期・約6



第24期正副会頭

年間、積極的に事業展開を図り、昨年10月末日まで諏訪の賑わい創出に向けて奮闘していただきました。そして、11月より藤森郁男会頭が就任し、第24期が新たな体制でスタートしました。
藤森会頭の陣頭指揮のもと

技能五輪大会の開催を契機に産業の振興を図る



諏訪の若き技能者を育てようとする新たな挑戦を開始（写真は、2月に開催したレストランサービスの技能講座の様子）

産業振興事業については、諏訪圏工業メッセへの継続的な支援を行うと共に、2012年に開催される第50回技能五輪全国大会長野県大会の開

催を契機に、地域技能者の育成に取り組みようと新たに選手開拓推進員を採用し、参加選手の開拓と諏訪地域における人材育成に向けての組織づくりを開始しました。
また、法政大や信州大学、室蘭工業大学と連携し、製造業における次世代人材の育成を行うビジネススクール（エッセンスコース）を開校し、学術的な専門知識を習得する機会を創出した他、諏訪地域の技術を活かした果汁搾り器「カジュッタ」を開発。試作機が東京のギフトショーで注目を集めるなど新たな取り組みもスタートしました。

新規創業は14人

諏訪中小企業相談所の利用実績

当所中小企業相談所の経営指導員による金融・税務・経営・経営・労務・取引など経営相談は、巡回指導447企業に対して1153回、窓口指導377企業に対して818回、創業指導は42人に対して94回の相談を行いました。そのうち新規創業者は14人。また、経営セミナーなど講習会開催による集団指導は75

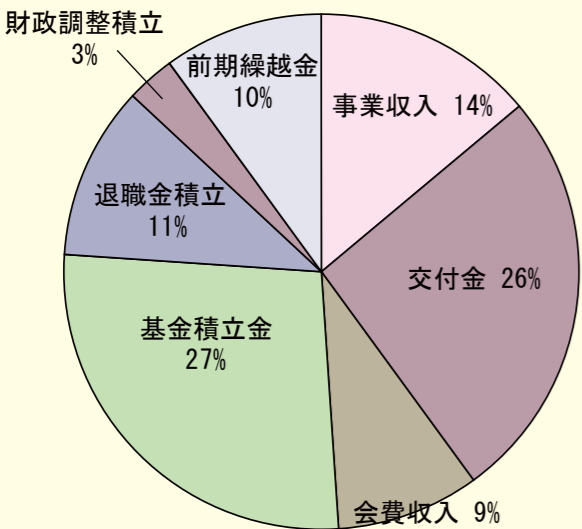
回、受講者は1498人、納税相談などの個別指導会は35回、受講者は542人でした。
当所独自のマルケイ利子補給制度は14事業所に対して53万円、産業振興事業等補助金は4商業会と1団体に対して合計50万円の振興補助を実施。何れも今年度も継続して実施しますので昨年より多くの利用を呼びかけています。

■平成22年度収支決算報告（10会計連結） 総額 325,138千円（H.22）

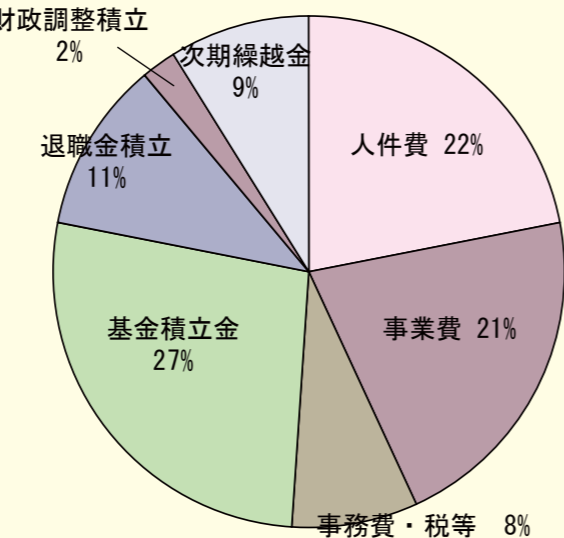
今年度の主な内容として、諏訪市共通商品券事業、中小企業支援センター事業終了により、事業収入、事業支出ともに約1億円の減となり、決算規模縮小があげられる。収入では、全国展開着地型事業、県委託業務「街なか創業塾」事業、元気づくり支援金事業、市委託業務「地域活性化コーディネート」事

業、「技能五輪選手開拓推進」事業等で新規補助金が2,300万円増となったが、商品券事業、支援センター事業、地域力連携拠点事業等終了により2,500万円の交付金減となり、合わせると約200万円の減となっている。支出では、車輛と情報機器更新のため、財政調整基金が360万円減少している。

【収入】



【支出】



■重点的な取り組み

5つの委員会・8つの部会を設置し、3つの推進本部体制には副会頭がそれぞれ本部長を務める組織体制の下、積極的に議員との懇談会や各委員会、部会を開催し、第24期の事業計画を作成しました。

賑わいと活力ある街の創造に向けて、当所は平成22年度、観光振興とまちづくり、産業振興に係る事業を重点的に取り組みました。

新たな挑戦となった観光振興事業

観光による地域活性化を目指して、「諏訪湖周まちじゅう芸術祭」をはじめ開催しました。日本商工会議所（日



まちじゅう芸術祭や諏訪の長い夜をはじめ、鹿肉を活用した新名物の開発、まちなか観光案内人の育成等の取組が評価された。

緊急的な課題にも積極的に取り組んだまちづくり事業

街の賑わい創出に向けては、県の委託を受けて「まちなか創業塾設置モデル事業」に取り組んだ他、新たに地域活



まるみつ閉店後の2月21日、スワプラザ1Fにオープンした食料品店「買い物毎日まるや」

商）が国の委託を受けて実施する「地域力活力新事業∞全国展開プロジェクト事業」の採択を受け、アートを切り口に諏訪地域の観光資源等を再編成し、地域の魅力を体験交流する集客型事業プログラムを展開しました。この事業は、全国の観光振興事業におけるモデル事業として高い評価を頂き、日商が実施する「きらり輝き観光振興大賞で、振興賞を受賞しました。

性化推進員を採用し、諏訪TMO事業を見直し、行政と共に街づくり会社設立に向けて積極的に取り組んで来ました。
また、2月20日をもって駅前「まるみつ百貨店」を閉店するという発表がなされ、中心市街地の核店舗消滅による影響は非常に大きく、市全体に停滞感や不安感が広がることに懸念され、当所としても早急に対応策を講じてきました。当所では、駅前対策推進本部を設置し地元商業会や行政関係者を集め「七者会議」を開催し、同店舗閉店にもなう課題に取り組みました。特に、買い物弱者を支援するための「買い物マップ」作製やスワプラザ内への食料品販売店の誘致に奔走しました。